

あなたが防ぐ 電気事故



電気安全についてのお問い合わせはもよりの
四国電力送配電(株)支社・事業所・お客様
センターへどうぞ
なお、別子山地区のお客さまについては
住友共同電力(株)別子配電センター
(TEL 0120-774-864)へご連絡ください。



★電気器具をお使いのときは

- うっかりぬれ手でさわらないように



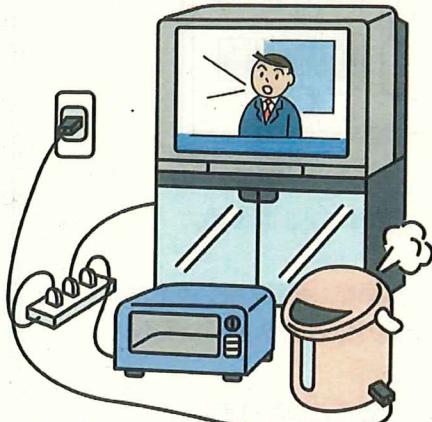
- 電気設備の不良箇所はすぐ修理を



- 洗たく機などにはアース線を



- タコ足配線はしないように



- 電気器具は^{PS}_Eまたはマークのついた優良器具を

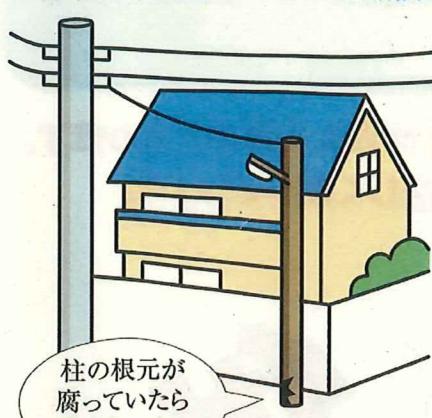


- 漏電しや断器を取り付けて安全な電気の使用を



★外ではこんなことに注意

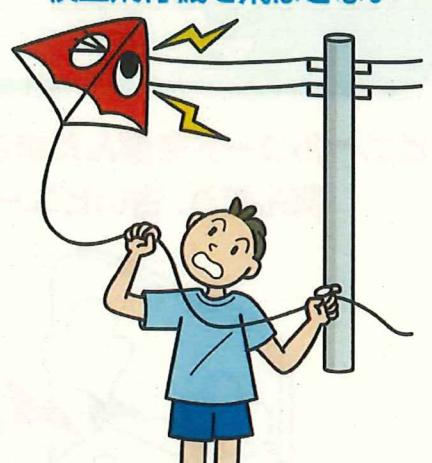
- 街路灯や引込線を取付した小柱が腐食していないか点検を



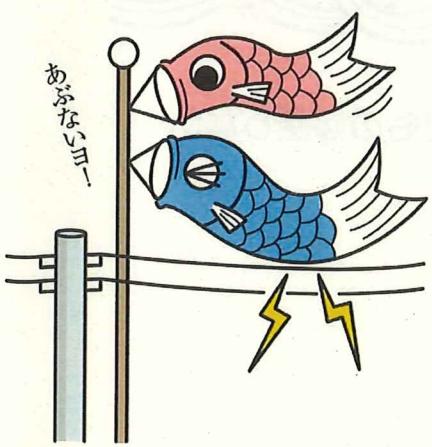
- 釣竿は電線に近づけない



- 電線の近くで凧上げや模型飛行機を飛ばさない



- こいのぼりは電線から十分はなれた場所へ



- 変電所の中へは絶対にはいらない



- 切れてたれ下がった電線には絶対にさわらず電力会社へ連絡する



★「グラッ」と地震が発生したら

- 使用中の電熱器具のスイッチを切り、コンセントからプラグを抜く



- 避難するときは、しゃ断器を「切」にする
地震を感じて、自動的に電気をしゃ断する装置も市販されています。

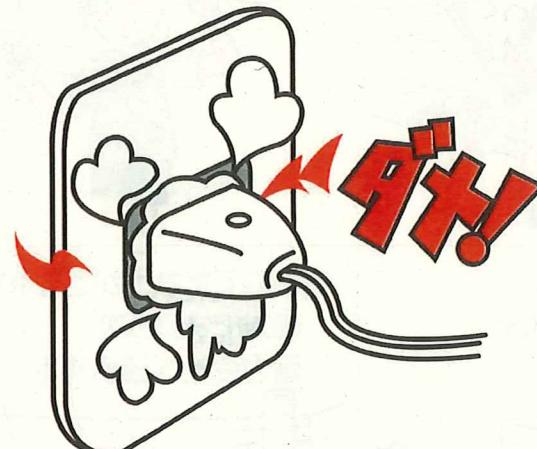


- 避難先から戻って、電気器具を使用するときは、ガス漏れのことや器具の安全を確認する



★ビニールコードの取り扱いには 十分注意しましょう

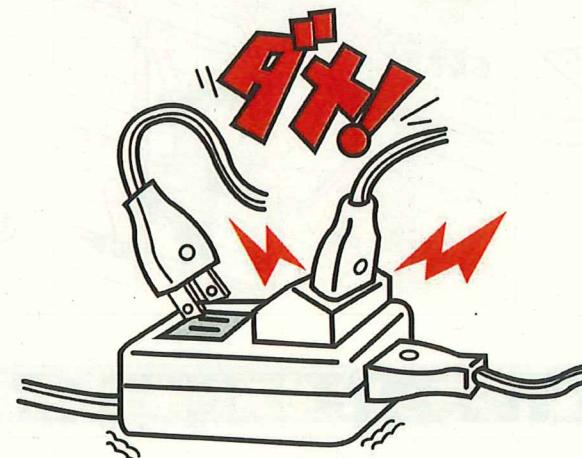
ビニールコードを傷んだまま使ったり、使い方が悪いと感電や火災の原因になります。
傷んだり、古いビニールコードは早めに取り替えし、正しく使いましょう。



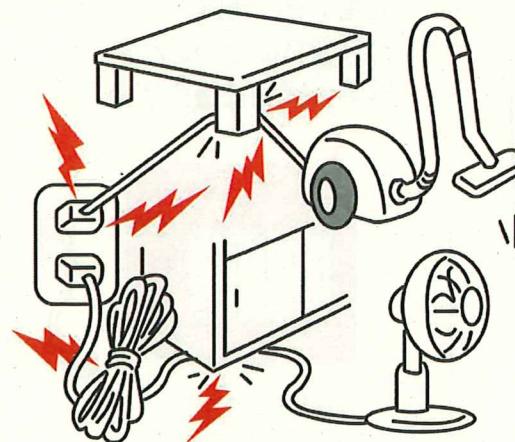
●ホコリや湿気は取り除く



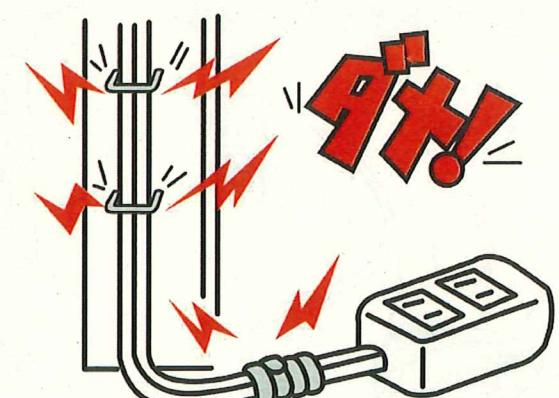
●傷んだものは使わない



●タコ足配線はしない



●物の下に敷いたり、束ねたり、
引っ張ったりしない



●金具止めや
コードとコードは直接接続しない

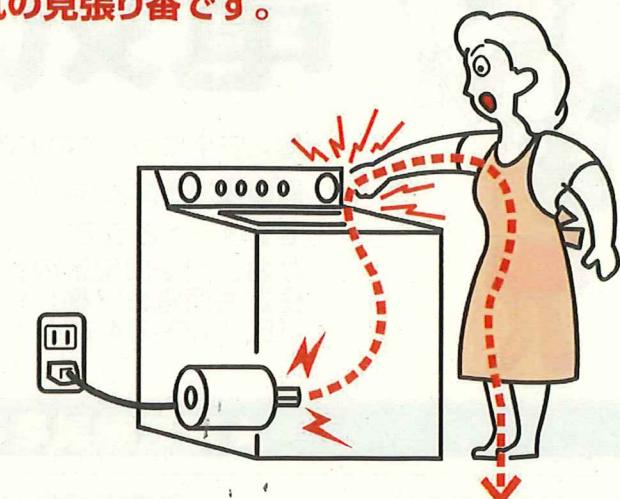
★漏電しや断器を取り付けましょう

漏電しや断器は電気の見張り番です。

漏電とは、電気が屋内配線や電気機器の電気回路以外の個所を流れることをいいます。

電気機器が古くなったり、絶縁性能が悪くなったり箇所やビニールコードの被覆が傷んだ箇所などから漏電が起こります。漏電していることに気づかず使っていると感電や火災をまねきます。

この漏電を素早くキャッチして、自動的に電気を止める働きをするのが漏電しや断器です。



漏電しや断器を取り付けていないお宅は、漏電しや断器を取り付けましょう。

お宅の玄関や台所などにある分電盤（電気の本スイッチ）をごらんになって下さい。まだ、漏電しや断器が取り付けられていない場合には、ぜひ漏電しや断器を取り付け、安心して電気を使いましょう。

なお、漏電しや断器は過電流保護、単三中性線欠相保護機能付のものを取り付けされるようお願いいたします。取り付け工事は、電気工事店に依頼して下さい。

もしも電気が切れた場合は、次の手順で点検して下さい。

- 1.まず、ご近所を見て下さい。
- 2.ご近所の電気がついている場合、分電盤の漏電しや断器が「切」になっていないか調べて下さい。
- 3.「切」になっている場合、次の手順で分電盤にあるスイッチを「入」「切」して下さい。
 - ①配線用しや断器（MCCB）をすべて「切」にする。
 - ②漏電しや断器を「入」にする。
 - リセットボタンがある場合は、リセットボタンを押してから「入」にする。
 - 半切れの状態の場合は、一度、完全に「切」（スイッチを下側に下げる）にしてから「入」にする。
 - ③MCCBを1つずつ「入」していく。
- 「入」にした時、再び漏電しや断器が「切」になるMCCBがあれば、その回路は漏電か電気の使いすぎです。そのMCCBを「切」にしたまま、漏電しや断器を再度「入」にした後、残りのMCCBを「入」にして下さい。
- MCCBを「切」にしたままの回路は、電気工事店で点検・修理してもらいましょう。
- 雷が鳴っている時に漏電しや断器が働いた場合には、MCCBを全て「入」にできることがあります。これは雷による誤動作です。

